

令和4年度埼玉県オハイオ州スカラシップ

語学・大学留学コース 2月レポート

令和4年度奨学生 宮原佑季

春学期が始まってから時間が過ぎるのがさらに早くなってきているように感じます。2月は Black Tie というパーティーが学内で開催されたり、高校で異文化交流があったりとイベントが盛りだくさんでした。また、下旬には中間テストもあり、忙しくも充実した月でした。今回は特に印象的だった Black Tie とフィンドレー高校でのイベントについてご紹介します。また、パソコンの買い替えについても少しご紹介します。

【Black Tie】

学内の Black Student Union という団体の主催でパーティーが開催されました。参加者にはドレスコードがあり、会場には食事や盛り上がる音楽が用意されていました。パーティー前に友人と一緒にドレスショッピングに行きましたが、あまりの値段の高さに手が出ず、結局日本から持参した少しカジュアルなドレスにパーティー前に購入したアクセサリーとハイヒールを合わせて参加しました。日本ではドレスを着る機会が全くなかったため少し緊張しましたが、他の学生のフォーマルな姿やダンスが新鮮でとても楽しかったです。ダンスの他、スニーカーコンペティションなどもあり、盛りだくさんの内容でした。多くの学生がパーティー用の服を既に持っており、メイクやヘアセットなどもばっちり決めていたのがアメリカらしくて印象的でした。



【World Heritage Night】

近くのフィンドレー高校で行われた、小学生向けの World Heritage Night と呼ばれる異文化交流イベントに参加しました。フィンドレーに住む様々な国出身の人が母国について各ブースで紹介しており、10 か国以上のブースがありました。ブースでは各国の紹介パネルの他、料理が振る舞われました。ブース以外にも、中国舞踊やマーシャルアーツ、各国の民族衣装のファッションショーなども開催され、日本人学生はソーラン節を披露しました。

観客の反応はとても良かったとは言えませんが、子どもたちが振付を真似してくれ嬉しかったです。イベントに参加し、改めてアメリカの多様性を目の当たりにしたと同時に、小学生のうちから様々な国の文化に触れる機会があることがうらやましく感じました。



【パソコン買い換え】

4年間使用しているパソコンについてガタが来ました。アメリカ人の友人に相談したところ、中古のパソコンの購入を勧められ、友人に手伝ってもらいながら中古のパソコンをオンラインで購入しました。しかし、届いたパソコンは画面全体に傷がついておりカメラが使い物にならない状態でした。再度友人に相談し、違う中古のパソコンに交換してもらうことになりました。以前友人の引っ越しを手伝ったときもそうでしたが、アメリカでは中古の売買や譲渡が日本よりも当たり前に行われている印象があります。また、返品や交換も頻繁に行われており、使用後でも返品ができるという点には驚きました。まだ壊れかけのパソコンを使用しているので、新しいパソコンに期待です…！

本プログラムの応募やフィンドレー大学での生活について興味や質問がございましたら、miyaharay@findlay.edu にお気軽にご連絡ください。私の経験が少しでもお役に立てれば幸いです。